



21世紀の森と広場



# とんぐり

パークセンターだより 第76号 2005年12月・2006年1月号

## アロエを栽培しましょう♪

みどりの相談員  
あおしま なおすけ  
青島 尚祐

ばんのうやく  
万能薬だなんていわれると  
「馬鹿な・・・」と思うのは  
私だけでは無いと思いますが、  
私の家には観賞用の種類も  
含めてかなりの数があったの  
に使ったことはありませんで  
した。ところがあるとき、軽  
い火傷をしてしまい、その時  
家に来ていた人に勧められて  
使ったことから、今では我が  
家の常備薬になっています。



また民間療法としても昔から馴染み深く多くの用途に使われているようです。

アロエはアフリカ大陸を中心に何百種という種類があり、紀元前2～3000年前から使われていた伝統的な薬草です。おもな薬用成分は結晶性苦味質のアロインとアロエエモジンで健胃剤や下剤などに処方されています。この薬用に使われている粉の生産には主に、アロエ・フェロックスやアロエ・アフリカーナとアロエ・スペキオーサの交配種が使われ、私たちが生薬として使うのはアロエ・アルボレスケンスで、キダチアロエと呼んでいる種類です。

このキダチアロエは、南アフリカ原産の高さが3m以上にもなる木立ち種で、水はけさえよければどんな土地でも育つ丈夫な植物です。ただ寒さに弱く、房州では戸外でも育ちますが松戸では無理で、凍ったら一度で枯れてしまいます。

たくしよくぶつ 多肉植物には共通して言えることですが、乾燥しておけば耐寒性が増してくるので、冬は水をやらず時々陽に当てるようにして凍らない場所に置くとよいでしょう。

一鉢ぐらいであれば、観葉植物として室内に飾って置けばいいのですが、時々葉を掻き取って使うとなると量が多い方がよいし、惜しげもなく使うには飾りとは別にあった方がよいですね。そこで、5月になったら庭や畑に露地植えするか、少し大きな鉢かプランターに植え替えて育てる方法はいかがでしょうか？土は普通の培養土で水が溜まらないよう排水に気をつけ、殖やすには枝を付け根から切り取って切り口が乾くまで乾燥させてから植えます。切り口の組織が柔らかくて腐敗しそうな場合には、鹿沼土など腐蝕質のない土を使い、根が出てから培養土に植え替えます。秋になったら観葉植物として形の良いものを鉢植えにし、冬の期間は凍らない室内に置きます。水は土が乾いてから2～3日してからやるようにしましょう。残りの株は11月の霜の降りる前に抜き取り、空気穴をあけた透明なビニール袋に入れて凍らないようにしておき、水はやりません。薬に使う場合はここから取って使います。

観賞用のアロエとしては小型で鉢植えによいもの、斑入りや模様のあるもの、花の美しいもの、棘の美しいものなど色々ありますが生薬として使うにはあまり適当ではありません。多湿に弱いものが多く、サボテンと同じような排水のよい土を使って、4～5月に年に1回は植え替えて育てます。



## みどりの相談室

パークセンター「みどりの相談室」では、相談員の先生が園芸に関するさまざまな質問に無料でお答えします。電話でもお受けしていますのでお気軽にご相談下さい。

【相談日】 水・土・日曜日と祝日

【時間】 午前10時～12時・午後1時～3時30分

【電話】 047-345-8900



# 12・1月催し物



講 座	日 時	対象・人数	講 師	費用	受付
自然観察会 「冬越しの観察会」	平成 17 年 12 月 1 日 (木) 10:00~12:00	どなたでも 30 名	自然解説員 川端祥子氏	無料	11/15~
森のクラフト教室 「クリスマス・お正月兼 用のリース作り」	平成 17 年 12 月 3 日 (土) 13:30~15:30	どなたでも 20 名	ネイチャークラフトデザイナー 山中琴江氏	500 円	受付 終了
野草ウォッチング (雨天中止)	平成 17 年 12 月 3 日 (土) 10:00~11:30	どなたでも 当日先着 25 名	自然解説員 加藤裕一氏	無料	当日 受付
園芸教室 「クリスマスに飾るクリ スマスローズの寄せ植 え」	平成 17 年 12 月 10 日 (土) 13:30~15:00	どなたでも 30 名	みどりの相談員 丸尾三恵子氏	2,500 円	受付 終了
こども自然体験 「飛ぶタネの秘密」	平成 17 年 12 月 11 日 (日) 10:30~12:00	どなたでも 20 名	自然解説員 直井・加藤氏	無料	11/15~
みどりの講習会 「ミニ門松作り」	平成 17 年 12 月 17 日 (土) 13:30~15:30	どなたでも 20 名	県立流山高校教諭 高野泰信氏	1,000 円	12/1~
バードウォッチング (雨天中止)	平成 17 年 12 月 18 日 (日) 10:00~11:30	どなたでも 当日先着 25 名	自然解説員 今村裕之氏	無料	当日 受付
園芸教室 「シクラメン・シンビジ ウム・クンシランの育て 方」	平成 18 年 1 月 18 日 (水) 13:30~15:00	どなたでも 45 名	みどりの相談員 小林喜代次氏	無料	12/15~
園芸教室 「落葉果樹(ウメ・カキ) の剪定」	平成 18 年 1 月 29 日 (日) 13:30~15:00	どなたでも 45 名	みどりの相談員 野口宣二氏	無料	12/15~

予定に変更が生じる場合がございます。  
詳しくはパークセンターまでお問い合わせ下さい。

# 冬の落葉樹

## ～樹皮のいろいろ～

自然解説員  
加藤 裕一

### 【樹種それぞれに特有の樹皮】

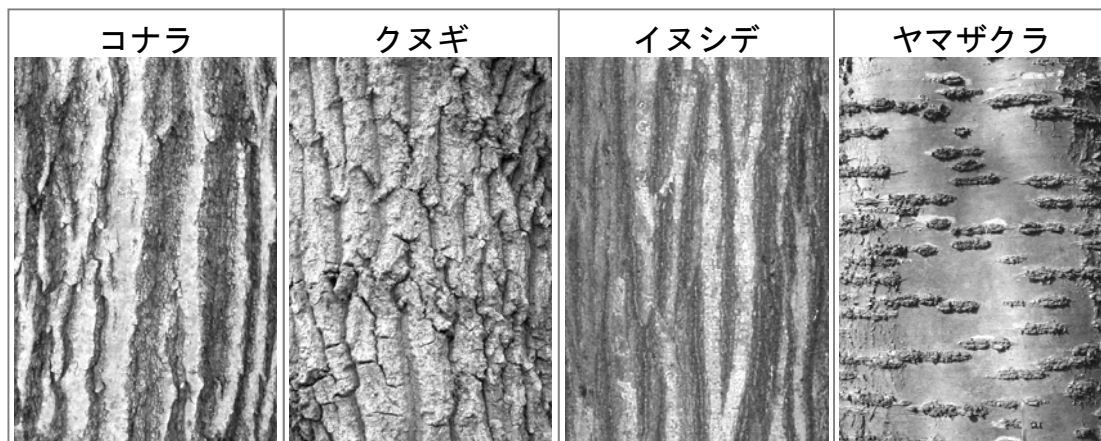
この公園内で観察することが出来る落葉樹の樹皮の写真を下に並べてみました。滑らかなもの、ざらざらしているもの、ごつごつしているもの、縞模様があるもの…という風に、どの種類もそれぞれ他とは全く違う樹皮を持っていますね。他にも、白くて滑らかなシラカバ、すべすべのサルスベリ、まだら模様が綺麗なプラタナスやナツツバキなど、特に個性的な樹皮を持つ木をご存知の方も多いことでしょう。このように、樹皮の様子はその樹種に固有で非常に重要な特徴です。しかし、春から秋にかけては葉あるいは花や果実などについて目が行ってしまい、樹皮はなかなか注目されません。冬、葉が落ちて木の幹が見やすくなるこの季節、じっと静かに春を待つ落葉樹の前でしばし立ち止まり、表情豊かな樹皮の世界を楽しんでみてはいかがでしょうか。

### 【樹皮の観察のポイント】

樹皮の観察では、以下のポイントに着目するとよいでしょう。なお、樹皮は若木と老木でその様子が大きく異なり、また個体差もあるので、注意が必要です。樹種ごとの特徴は、ある程度大きく育った段階で現れてくるので、なるべく太めの木で観察することをお勧めします。

#### ① 色調・光沢

樹種ごとに樹皮は実に様々な色調をしています。白っぽいもの、灰色のもの、褐色のもの、黄みの強いもの、中には緑色や紫色を帯びるものもあります。また、光沢の有無も重要です。



## ② 模様・裂け方

樹皮は、つるつるでぴかぴかのものは非常に少なく、大抵の場合、ざらざらして何らかの模様があたり、裂け目があります。多くの場合、このような模様や裂け目には‘皮目’<sup>ひもく</sup>とよばれる空気の通り道が関係しています。この皮目は、ぽつぽつと点として幹に散在するものもあれば、縦あるいは横に筋状<sup>すじじょう</sup>に連なるものもあり、それが結果として樹皮の模様や裂け目として現れてきます。模様のパターン（点状か筋状かなど）、裂け目の幅・深さ・滑らかさなどに注目しましょう。

## ③ はがれ方

古くなった樹皮は、紙のように薄く横にはがれたり（シラカバなど）、全面的にむけ落ちたり（サルスベリなど）、不規則にはがれ落ちたりして（プラタナスやナツツバキなど）、新しい樹皮へと更新されていく樹種があります。はがれ落ちてくる古い樹皮の形や厚さ、新しく現れた樹皮の色などに、その木の個性が出ます。

### 【公園内の主要樹種の樹皮】

最後に、公園内で見かける主な落葉樹の樹皮の特徴を下の写真をしながら簡単に確認してみましょう。公園内を散策する際、参考にして下さい。

〔コナラ〕：縦に裂け目が走り、次第に増えていくが、凸部の平坦な部分は長く残存

。

〔クヌギ〕：縦に深い裂け目が走り、成長するにつれてほとんど裂け目で覆われる。

〔イヌシデ〕：すりと伸びる滑らかな樹皮に縞模様、大木になると浅く裂ける。

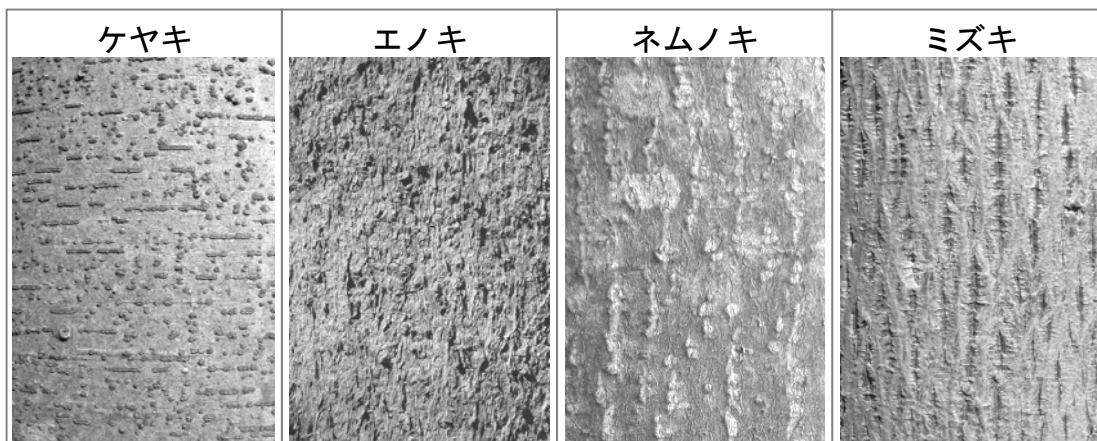
〔ヤマザクラ〕：鈍い光沢があり、皮目が横に連なる。老木では不規則に縦に裂ける。

〔ケヤキ〕：滑らかな樹皮に皮目が横に連なる。大木では雲紋状に不規則にはがれる。

〔エノキ〕：目立った裂け目や模様は無いが、全体的にささくれ立ってざらつく。

〔ネムノキ〕：皮目が縦に連なる傾向があり、やがてそこから浅く裂ける。

〔ミズキ〕：縦に浅い裂け目が出るが、裂け目の部分は滑らか。



# ツバメ

自然解説員  
いまむら ひろゆき  
今村 裕之

「暑さ寒さも彼岸まで」と言いますが、松戸ではまだまだ寒い3月初めのころ、東南アジア方面から渡って来ます。江戸川の河川敷などの水辺で良く見かけ、21世紀の森と広場の千駄堀池でも、毎年、彼岸前後に見られます。

渡って来たばかりのころは体力を付けるため、飛びながら昆虫を捕り、何日かけて体力を付けたツバメは、前年巣を掛けた市街地へとやって来ます。最初に街中を飛ぶツバメは雄で、大きな声で「チュピー」と鳴きながら飛ぶので、今年もまたやっと来たと知ることができます。飛びながら囀る時もあるれば、巣近くの電線にとまって囀る時もあり「土食って、虫食って、しぶーい（注）」、と鳴きます。

それから何日かすると雌も渡って来ます。ツバメは毎年同じ巣へ戻って来ます。元山駅近くのツバメの雄は、何年も同じ巣を使っていました。この雄は長い尾羽の長さが左右でちがっていたので、今年も来たことがわかります。ツバメの雌雄は同色なので、色では比べることが出来ませんが、尾の長さが雄の方が長く雌の方が短いです。が、一年目の雄は尾羽が短く、雌と2羽並んだ時に比べると雄の方がわずかに長いので識別できます。（ツバメの尾羽のことを、燕尾と言います）

ツバメの巣は土と枯れた草と自身の唾液で作られています。公園の光と風の広場北側の水がしみ出ているあたりに、ツバメが降りていることがあります。ここで巣材の土を得て、常盤平駅方向へ飛んで行きました。今でも地方の農家では、家の中の土間の梁に巣



を掛けるツバメもいますが、ここ松戸では家の中に巣を作ることはないでしょう。以前は軒先にツバメが巣を作ることを歓迎しました。なぜならその家は繁盛すると良く言われていたからです。今はお店の庇（日除け）に巣を作るツバメもいません。こんなに人間の近くで子育てをする鳥は他にはいないでしょう。明治時代か

ら保護鳥ほごちようになっており、もっと大昔から人間はツバメを大切にきて来たのです。田植えの終わった稲の上を飛び回っては、昆虫類を捕まえて食べ、稲に付く害虫を食べてくれることでも農家の方達はツバメを特に大事にして来たのです。

ツバメが庇ひさしの真下に巣を作るには、理由わけがあります。それはカラス対策です。庇の真下だと巣を襲うカラスの翼が庇に当り、襲うことが出来ないからです。でも直射日光は暑いだろうな。

ガード下に、ツバメの巣がありました。巣の中にはかわいい子ツバメ5羽が顔を同じ方向へ向け、親が餌を持って来るのを待っています。それを狙って、ハシブトガラスが巣の近くへ。追い払うこと数回、カラスも諦めたのかいなくなりました。次の日、巣が壊こわされていて2羽のヒナがいなくなっていました。でも何事もなかったかのように、親鳥は3羽のヒナに餌を運んでいます。巣立ちの日が来た。朝早く2羽のヒナは巣立ちした。近くの電線にとまり親から餌をもらっています。夕方になっても、もう1羽は巣の中でした。親が餌を持って来たのを見ていない。親に忘れられてしまったのか。勇気を出して巣から飛び出せと願った。3日目の朝、巣の中に黒い頭部が見えたのですが、動いていませんでした。

ツバメは歩くのが苦手で、巣立ちしたヒナが電線を横に移動するのがやっとなので、ウォーキングやホッピングをしているツバメを見たことがありません。巣材すざいの土を取りに、土の上に降りるのがやっとなので、水を飲むときだって飛びながら下嘴したくちばしで水をすくって飲んでいます。

巣立ちしたツバメの幼鳥ようちようは、親と一緒にって餌を捕ります。この公園でも、千駄堀池や、生態園の上空を良く飛んでいます。親子の識別は、幼鳥の尾羽おぼねが短いことからわかります。8月いっぱいには良く見られますが、9月に入ると渡りの準備なのでしょうか、めっきり減へります。渡る前に葦原あしはらに埒ねぐらを作ると言いますが、松戸付近では見たことがありません。

10月、タカの渡るころ、かなり上空を「土食って、虫食って、しびーい」とお喋りしゃべりしながら渡っていきます。また来年も来てくれることを祈ります。

(注) 鳥の鳴き声を、真似するのは大変、人間の言葉に置き換えた、これを「ききなし」と言います。





## 年末年始・施設休館(園)案内

施設名	電話番号	お休み
公園	047-346-0121	12月30日(金)～1月1日(日)
パークセンター	047-345-8900	12月28日(水)～1月4日(水)
自然観察舎	047-340-4140	12月28日(水)～1月4日(水)
アウトドアセンター (バーベキュー場)	047-385-1815 047-384-2234	12月26日(月)～1月7日(土)
カフェテラス (プレリユード)	047-347-5877	12月29日(木)～1月3日(火)
里の茶屋	047-347-6850	12月28日(水)～1月3日(火)
売店(わかば)	—	12月29日(木)～1月2日(月)
松戸市立博物館	047-384-8181	12月28日(水)～1月4日(水)
森のホール21	047-384-5050	12月29日(木)～1月3日(火)

詳細につきましては各施設までお問い合わせ下さい。



発行日：2006年1月1日  
発行：21世紀の森と広場パークセンター  
開館：9：00～16：00  
(3月1日からは9：00～16：30)  
月曜休館(祝日開館/翌日休館)  
〒270-2252 松戸市千駄堀269  
TEL 047-345-8900  
<http://www.city.matsudo.chiba.jp/>

- ・ゴミは家までお持ち帰り下さい。
- ・なるべく公共の交通機関をご利用下さい。
- ・ペットを連れての入園はできません

